て

代

吉

ち細心の注意を払つて、大胆に実行されていることには心から敬意を表しています。

こうしよい面は、市民が一体となつて、益々伸ばしていきいものであります。

さらに源開発の問題がありますが石油、ガスの調査は開発会社が非常な力こぶを入れ、頼る有望だといわれてります。なんとしてもこを推進して、一大工場を誘致し、二、三男対策等もの面から解決していくべでしょう。

何れにても、五所川原市が発展することは、私の一大念願であります。健全財政を確保して重点事業をやりながら、絶対に税金をあげない。

市民のなさま、手をつなぎ合つよい市かくらしやすいくりあげましよう。

在の五川原では雲泥の相違がとだと思う。この見るべきでなかろうか

問　どこ都市でもこんなに変つているものですか

答　いや、二、三日前貸出いたしますから希望に黒石及人がきて、ビックリしていたそうです。か。里は旧態依然たるのに五所川原は商店街から通信から内外共に充実ーくらべ物にならないくらいつていました。

問　最近ない三、貸出を受けることのできるのは公共団体と民間団体で団体鑑賞を行う場合ですが、

答　六月から開かれていますが、そんなに大きな問題が出ないのです。市長直前に議員九名からの要求がありました、その案件が問題であまして、これらの議員は提案権のないものを要しているので、これはありあげることはありません。勿論自治法にこだわつているわけではありませんが、議会を開く進はちやんとつけてありますが、告示中は遠慮するきで、今月中にはやる定になつています。

問　博覧のことが、新聞をみると、問題でなくなつたようですが、

答　不起だと考えます。博覧会特て地力の培養を忘れている別調査員会が隅から隅のではないかと思われる。りしたそうですから、市民の方々納得がいつたことだと考えています。

問　お忙しい所どうも有難うございました。

答　どうしまして……。

簡易保険伸長する

素晴らしい五所川原の成績

五所川原郵便局では例年簡易生命保険ならびに郵便年金の年間目標額を早期に完成しているが、本年も又保険目標額八千壱百六拾万円を七月四日で、郵便局を通じて込いま便年金目標額を簡易保険の掛金は約八億円、年間額にして約九万円を五百五拾億円という大きなも月十日にはですが、比の大部分のおそれぞれ金は将来保険金を支払う準備金として積立てられます。

このお金のことを積立月二十七金といいますが、このお金日）保険はただ漠然と積立ておく訳は一四一ではなく、地方にどん〳〵、三〇%の還元され皆様方の生活に一億壱千番ながりの深い県や市を五百参拾とおして学校、又道路、橋万五千四河港の修築、上水道の工）郵便年事、開墾、農業水利、耕地金はぐんか改良、農作果実の振興、災とのびて害復旧等ありとあらゆる範二三二%囲にわたる公共の施設に役

このように簡易保険は住みよい町、明るい村の建設に大きな力となつているのであります。

この地方に還元される資金も、簡易保険に加入される方々が多くなればなる程又毎月の保険料がきちん、きちんとその月のうちにお払込下されば、されるる程融資も有利に

収入実績が十二月末までに一〇〇%（現在七四%）みだと思います。丈夫な赤ちゃんを生むために、又赤ちゃんを丈夫に育てるためにどのようにしたらよいかなく、五所川原市全体のこの上ない名誉であると考えます。

出映写機の貸出

希望者は公民館まで

五所川原市福祉事務所

先般仙台市アメリカ文化センターより五所川原公民館にビクター十六耗映写機八台、その他映写機及びフイルム貸出について不明な点があり五所川原公民館まで連絡下さるよう願います。

五所川原市布屋町五所川原公民館

梅田公民館

敷地買収きまる

全国の注目を集めて分村合併した梅田地区にはこれまで市民の寄合いの場所がないままに今日に至つているので市役所ではこれが不便を解消するために、この際老朽化した市役所を解体して、支所兼公民館を新建築すべく目下準備中で、梅田部落の中野俊信氏所有のりんご園一平方籾を買収し設計に大童であるので、まあたらしい寄合いの場ができあがるのも遠からずである。

写真撮影したりんご園の測量、前田支所長と前田顕三氏

青山課長が発表

県代表として国保の実際に就て国民健康保険の東北協議会が主催で十月二十七日浅虫の県民会館で都市国保主管課長会議が開催されたが、この席上で当市の青山保険課長は、青森県を代表して国保活動の実際について、事例発表をなし、大きな感銘を与えた。

地力の培養について

豊作の連覇に備えて

農家の方々の考え方が技術も能主義に変つてきたことは、いちばんおそろしいことです。

いまの農家は土地からしぼりとれるだけしぼりとつてしまう。

なるのが当然とされている。

地力の培養を忘れている。

断りあげて、はつきりとこんなことは、あたかも断の絶壁に一歩一歩突進しているようなもので本当に心しなければならないことであろう。

土地を大切にすること怠つていたり、地力の培養を忘れていると、いつかはとんだ目にあいます。

地力の欠乏が押し

『もつととれる』

『もつととれる』と四年続きの豊作に有頂天になつているのは危険です

土壌が瀕死の重傷をおつております

地力さいあれば米は無肥料で収穫できるのです。反当り三石とれれば、二石は地力であつてあとの一石は技術と化学肥料の助けということになつております。

この証拠には肥料（化学）を少しでも多く入れると稲なる米はとれなくなります。稲作りというものはちょうど『ハレ物』にさわるようなものです。

出力ということは土壌中にふくまれている腐植の量のことで、腐植が五%から七%まであれば、立派な土地だといわれております。腐植はワラの堆肥をスキこんで作るものであつて（草の堆肥では残らない）むかしから稲作には反当り二百

〆以上の堆肥がいるといわれております。

これには百〆のワラが必要なことになつております。しかし最近稲の品種が改良されてワラの部分が非常に少くなつていて実はかり多くなつてきました。

昔一反から百六、七十〆もとれたワラが現在ではせいぜい百二十〆そこそこよりとれない実情でワラ工品を作れば堆肥にするワラが足りなくなるのが実情であり、豊作になればなるほど地力が減り補給がつかなくなる訳けであります。

四年間も豊作が続いた今日地力の培養を忘れて技術本位に米の収穫ばかり計算に入れたあとの地力というものは殆ど失つております。

いつたん失つた地力に活を入れることは、一番むずかしいことであつて、とりかえしのつかないことになります。

農家の皆さん反当り二百〆以上のワラによる堆肥が入れられておりますか、来年の堆肥の準備は出来ておりますかどんなに豊作が続いても地力をおとさぬよう地力の培養に努めましょう。

母子家庭の進学と就職

商工会議所で座談会

「母の病気は一番困る」が圧倒的

五所川原市における母子家庭は三五〇世帯生徒数七二〇名であるが、市の母子福祉会、市社会福祉協議会は常に、市福祉事務所と緊密な連絡のもとに生活の向上、福祉増進のために愛の手を差しのべてきているが十月十二日午前十一時から市商工会議所二階ホールで母子家庭児童激励懇談会を開催したが、その際五所川原中学校三年生三十二名（男子九名女子二三名）に対してアンケートを発しその回答内容を集計し、分析してみると次のような結果がでましたので母子家庭のお母さんや一般のお母さん方に参考にもなればとこれを公表いたします。

① 卒業後の希望

進学希望（男子五　女子二六）二十一名

内高校十二名（男子四、女子八）名高専三、商業校一、看護学院一、家政学院一、洋裁学院一、未定二

就職希望　十一名

（県内五　未定二）

（県外四四　工員二　未定四

内店員五

② 今までに自分が一番困つたこと

母の病気　六

父の死亡　二

自分の病気　二

失業　二

母の不在勝　一

母の叱　一

不眠　一

悪い成績　一

貧困　一

裁判　一

入学失敗　一

記入なきもの　七

一般家庭でも病人のあることは困るけれども母子家庭において一家の柱石である母の病気ほど子供の心を痛めるものはないでしょう。

母の不在勝、不眠なども、母子家庭の児童らしい心の不安を思わしめている。

③ 今までに自分が一番うれしかつたこと

修学旅行　六

成績上昇　五

一日父親　二

書道展入賞　一

記入なきもの　三

大部分の児童は進学を希望している点に注意を払う必要があると思われます。

ところが、母は生活のことで一ぱいであり、子女の教育については屯角等閑になり勝ちであります。

なかには優秀な成績の子女もあるようです。進学を希望する多くの母子家庭の子に実力を発揮することの出来る機会を与え、教育の機会均等のために援護の手を差しのべたいものであります。

大部分の児童は母子福祉対策の一つの眼目にもなつていることを考え援護活動は一層活潑にし、個別的に集団的に手を打たなければならないことを感じます。

④ 尊敬している人

母と先生　一〇

姉先生　五

個人　三

各人　一

記入なきもの　四

大部分の児童は母と先生を尊敬しており、野口英世を尊敬しているというのも一人あつて注目された。

母の恩義を強く感じ母を尊敬しているこの子等は次の項にも関連しており、母子家庭の児童らしいほほえましさを感じます。

⑤ 母に対してどんなことを望んでおりますか

母の健康　六

楽にしてやりたい　四

母の長生き　二

母の在宅　二

就職　二

自分の進学　一

生活改善　一

母の若返り　一

母のすい眠　一

母の理解　一

記入なきもの　五

母の健康を望み、長生きさせたい心、楽にしてやりたい心こそ、母の慈愛に生きているこの子等の純真なかおりがする。

生きていくための母は常に家庭におれない境遇におかれている方もあろう。

母は夜遅くまで内職したり夜業でよくすい眠をとれない母子家庭の雰囲気ものぞかれる。また母の若返りを望むこの子には、老いゆく母の姿に心を痛めていることであろう。

いろいろな角度から母子家庭の明るさ、住みよさを築いてやりたいものであります。

⑥ 母に対し

人にほめられて　一

母を喜ばす　一

すい眠　一

記入なきもの　八

母の憂情を身に泌みて感じている母子家庭の子等は母の健康長寿を望み孝行して母を幸福にすることがこの子等の心からなる希いであります。母の慈愛を感じて子は親を思いやる心これこそ孝心であり、この心と心の繋りこそ日本国民特有のものでありましよう。

非行少年の増加していくことは最近の世想であり、その素因には貧困、家庭不和、悪環境、映画の影響等々枚挙にいとまなのないほどあります。

全国的に子を殺し、姉兄を、兄、姉を、

いわゆる非行は日々の新聞記事となつているときかでなくとも母と食卓を共にして将来を語らいながらその日その日を明朗に生きていくようにしてやりたいものであります。この子等の念願がかなつて母を東京見物にやり、家を建て夜はゆつくり安眠の出来るような母子家庭にしてやるために、世の中のみんなが力になつてやらなければなる

⑦ 結

児童の福祉

可分の

なやみも

の一点に注がれ

めに朝な夕な心を

る母、その事が児童の

りにひらめいて

このアンケート

よくわかります。

母子一体の原則は母子社の法則に一貫して流

る思想であります

母子家庭にな

ついていい

ようが、し

可愛い赤ちんを生んで夫に育てることは、すべてのお母さん方の心からの望みだと思います。丈夫な赤ちゃんを生むために、又赤ちゃんを丈夫に育てるためにどのようにしたらよいかお母さんと共々に勉強して行きたいと思います。

① 妊娠中の心得

妊娠は病気ではありませんが、母の体位を維持して胎児の充分な発育をはかり完全な分娩をするためには色々な注意が必要だと思います。

まず妊娠したと知つたならば医師又は助産婦の診察を受けることです。そして一日も早く妊娠届を出し母胎児共々の健康管理をすることが大切と思います。

妊娠届は普通三—四ケ月までに済ませなければなりませんが、当地区では十ケ月に届けている方のが届出中の三分の二をでしかない。

ぜひ改めたいものだと痛感致して居ります。

妊娠は生理的なものですが母体の負担は相当大きなもので抵抗力は減退しますから色々な病気（中毒症、結核、心臓病、性病）に罹からないように、又罹つていてもそれを早期に発見し治療するためにレントゲン写真をとり、尿蛋白や血液検査等色々と病院や保健所を利用して健康診断を受けるべきです。

次に大切と思われるのは栄養です。お母さんは赤ちゃんの分も補わねばなりません。

保健婦の手帳から

海老川　玲子

赤ちゃんの骨や歯、血液を作るものです。小魚、野菜、粉乳、牛乳に含まれています。

これは普通の時より倍にとらなければなりません。ビタミンADDは胎児の発育をよくし梅菌に対する抵抗力をつくり歯や骨の発育に必要です。ビタミンBはむくみや心臓の障害を予防し、ビタミンCは胎児の発育をよくし、抵抗力をくり出血を防止します。又ビタミンBは貧血の防止に大切です。ビタミンを充分とるのには偏食をさけ野菜や果物を充分とり日光に当ることです。

イ、カロリと蛋白質　これは肉類、魚、粉乳、牛乳に含まれています。

ロ、カルシユウム　これは

ます。

○夕映の稲田の涯に我訪がれん息家は小さく見えはじめたり

訪へばカリエス病みて細りたる顔にて今日も癒えしと云たふ。

以上姉妹中の心得を申しましたけれど誰にでもわかる。そしてすでに実行なさつている方もございましようがまだ実行なさつていない方はよりよい安全な分娩をなされるようにして頂きたいと思つています。

……